

Sonorite Xenial Support

(ソノリテ ジニアル サポート)

Microsoft 365 アップデート情報資料サンプル+サービス紹介資料
株式会社ソノリテ

Microsoft 365 アップデート情報

2024 年 4 月～ 6 月 資料サンプル

Sonorite Xenial Supportでは、
毎月の定例で Microsoft 365 に関する
アップデート情報を共有しています。

SharePoint Online 【MC791596】

- ・ Microsoft SharePoint Online : ページとニュースの新しいバナー Web パーツ (更新されたタイトル領域)

リリース時期 : 7月上旬~7月下旬

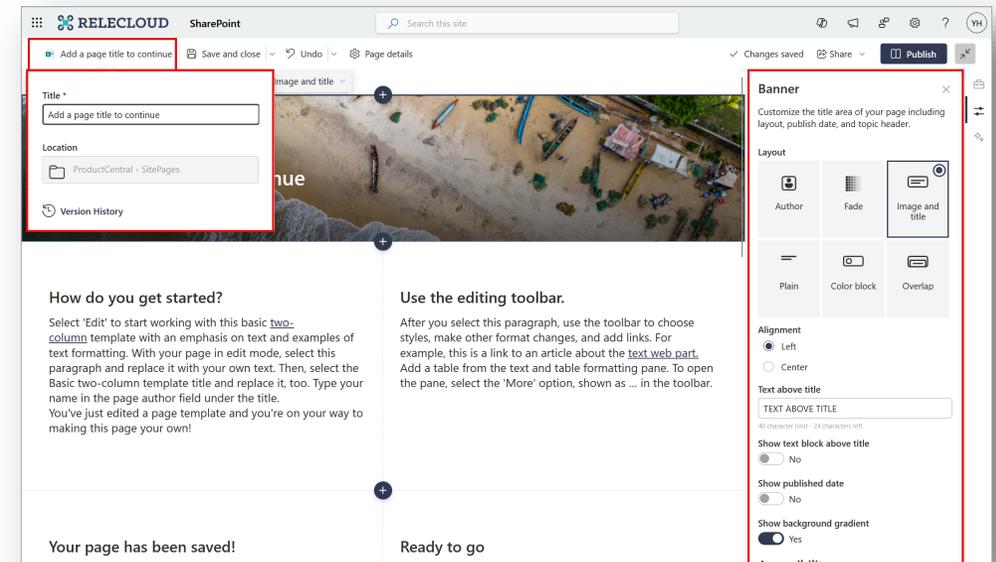
概要

SharePoint Online では、ページとニュース用の新しいバナー Web パーツが導入され、ユーザーはページのタイトル領域に複数のバナーを削除または追加できるようになります。

タイトル領域は、新しいレイアウトのバナー Web パーツとなり、ユーザーは全幅セクションを含むページのどのカラムにも 1 つ以上のバナーを追加することが可能となります。

ロールアウト後、新しい SharePoint ページ テンプレートを使用してページを作成すると、上部に新しいバナーが表示されます。状況によっては、古いタイトル領域の名前が新しいバナーに合わせて自動的に変更されないことがあります。ユーザーは新しいレイアウトオプションを選択することができます。

また、ロールアウト前のタイトル領域とバナーは、電子メールでサポートされます。ユーザーがページやニュースをメールで送信すると、レイアウトは若干変わりますが、バナー画像はバナーテキストの上に表示されるようになります。



リソース

- ・ [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC791596](#)
- ・ [Microsoft 365 Roadmap ID:386904](#)

OneDrive for Business, SharePoint Online 【MC789209】

- Microsoft SharePoint ドキュメント ライブラリ: バージョン履歴コントロールの改善 |プレビューのオプトイン

リリース時期： 8 月下旬～ 10 月中旬

概要

SharePoint Online では、データ保護とストレージ管理の強化のため、バージョン管理機能が更新されます。

これまでは、ドキュメント ライブラリの所有者がライブラリ レベルでカウントベースのバージョン制限を設定できましたが、今回の更新により、以下の機能が導入されます。

• バージョン履歴制限オプション

経過時間や復元確率などの重要な要素を考慮した新しい自動バージョン制限が導入されます。また、手動設定では、バージョン数制限に加えて、経過時間で制限できる設定が追加されます。バージョンの時間制限は、ライブラリの [バージョン設定] ページに表示されます。ライブラリに適用されている既存のバージョン制限は変更されません。

• 既定のバージョン履歴制限の設定

組織レベルの既定のバージョン履歴制限を設定することで、組織を通じて作成されたすべての新しいドキュメント ライブラリと OneDrive アカウントに一貫したバージョン ストレージを設定できます。組織レベルのバージョン履歴制限の既定値は、手動設定 (メジャーバージョン数「500」、時間制限「なし」) に設定されます。また、サイトまたはライブラリレベルでバージョン履歴の制限を設定し、組織の既定のバージョン履歴制限の継承を解除することも可能です。

OneDrive for Business, SharePoint Online 【MC789209】

- **使用状況の取得**

CSV レポートを生成してサイトまたはライブラリのバージョン ストレージの使用状況を取得し、現在の使用状況の傾向や影響の分析が可能です。

- **既存のバージョン ストレージへの適用**

サイトまたはライブラリからバージョンを削除することで、既存のバージョン ストレージのフットプリントを削減したり、新しい制限に合わせるすることができます。

- **ファイルのバージョン履歴ビューの [有効期限] 列**

ファイルのバージョン履歴ビューに [有効期限] 列が追加され、ライブラリ設定に基づいてファイルのバージョンに適用された有効期限が表示されます。また、個々のファイルバージョンを無期限に設定することも可能です。

さらに詳しい内容については以下をご参照ください。

- 管理者向けドキュメント：[ドキュメント ライブラリと OneDrive のバージョン履歴の制限の概要](#)
- エンド ユーザー ドキュメント：[リストまたはライブラリのバージョン管理の有効化と構成](#)

リソース

- [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC789209](#)
- [Microsoft 365 Roadmap ID:145802](#)

Microsoft Teams 【MC748379】

- ・ Microsoft Teams: デスクトップのチャットでのインテリジェントなメッセージ翻訳

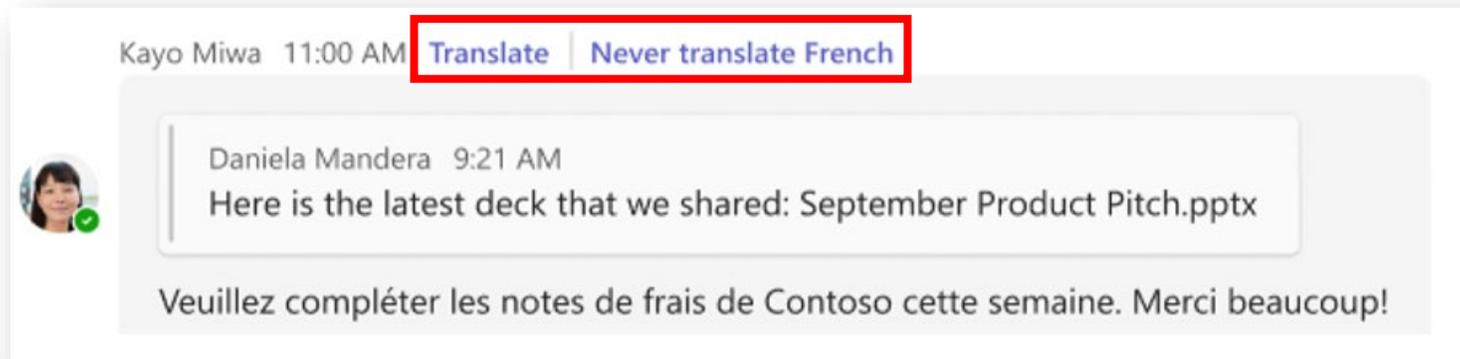
リリース時期：5月上旬～6月下旬

概要

Microsoft Teams では、メッセージの翻訳機能が更新されます。

- ・ 翻訳の提案

ユーザーの使用言語とは異なる言語でメッセージを受信すると、翻訳の提案が表示されるようになります。メッセージを翻訳する場合は [翻訳]、その言語を翻訳するオプションを表示しない場合は [(言語) を翻訳しない] を選択できます。



Microsoft Teams 【MC748379】

- ・ オーバーフロー メニューの [翻訳] 機能

メッセージのオーバーフロー メニュー (...) 内の [翻訳] から翻訳の設定ができるようになります。

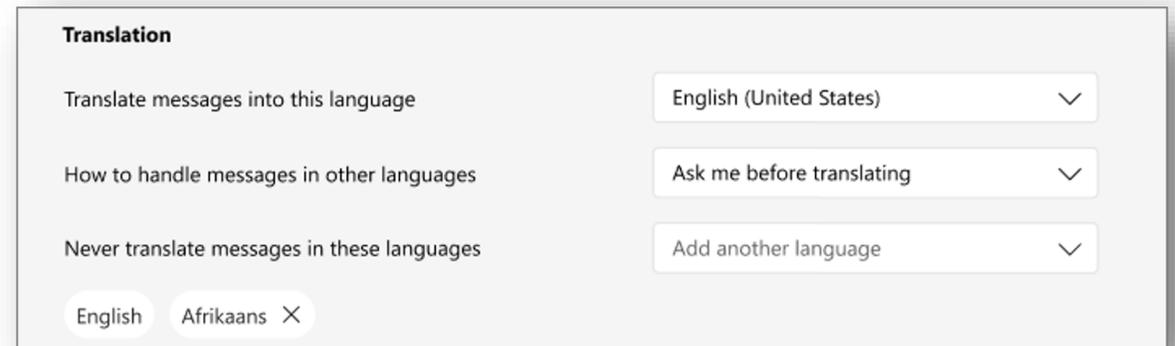
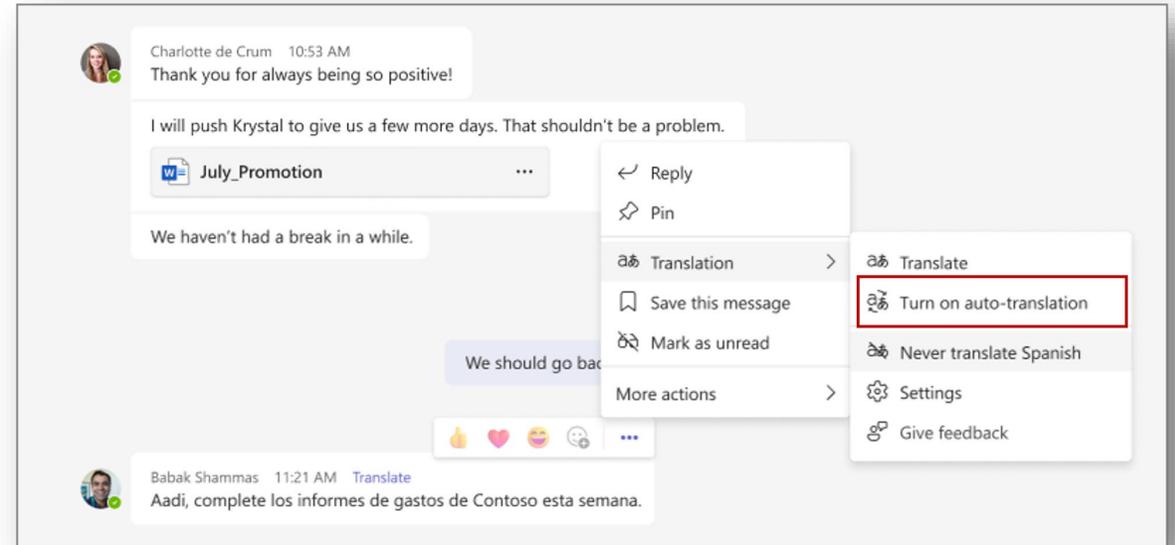
[自動翻訳をオンにする] を選択すると、メッセージを希望の言語に自動的に翻訳できます。

- ・ [設定] > [表示とアクセシビリティ] 内の翻訳設定

[設定] > [表示とアクセシビリティ] > [翻訳] からアクセスできる翻訳設定についても、より詳細な設定が可能になる予定です。

リソース

- ・ [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC748379](#)
- ・ [Microsoft 365 Roadmap ID:99841](#)



Microsoft Teams 【MC762503】

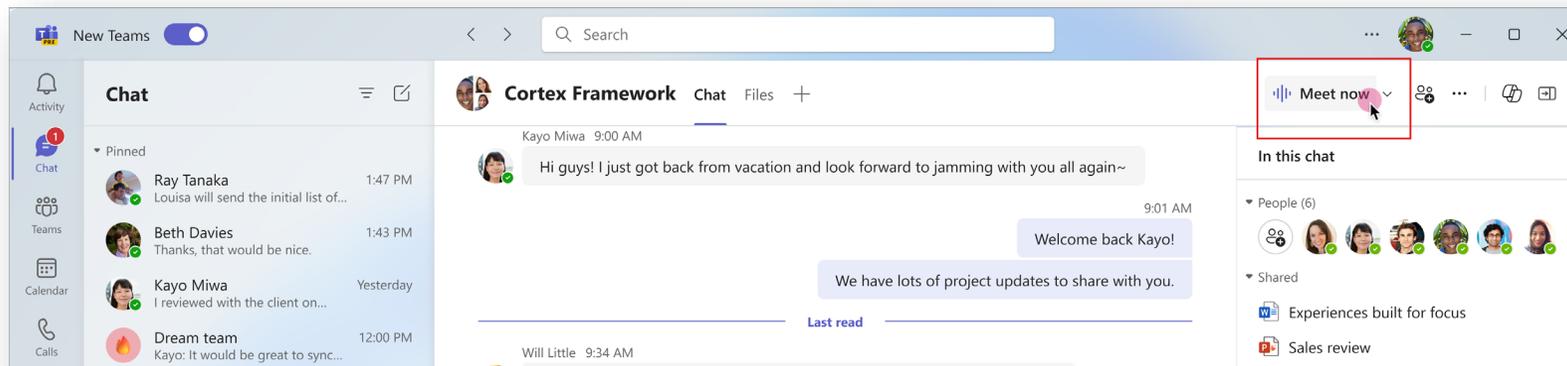
- ・ Microsoft Teams: グループ チャットでの新しい [今すぐ会議] エクスペリエンス

リリース時期：5月下旬～6月下旬

概要

Microsoft Teams では、グループチャットに「今すぐ会議」機能が導入されます。

これまでグループチャットには、「グループ内のすべてのユーザーに通話」機能しかありませんでしたが、この機能により、ユーザーは会議をスケジュールせず即座に開始できるようになります。



リソース

- ・ [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC762503](#)
- ・ [Microsoft 365 Roadmap ID:128191](#)

Microsoft Teams 【MC795750】

- Microsoft Teams: カスタム絵文字とリアクション

リリース時期：7月中旬～7月下旬

概要

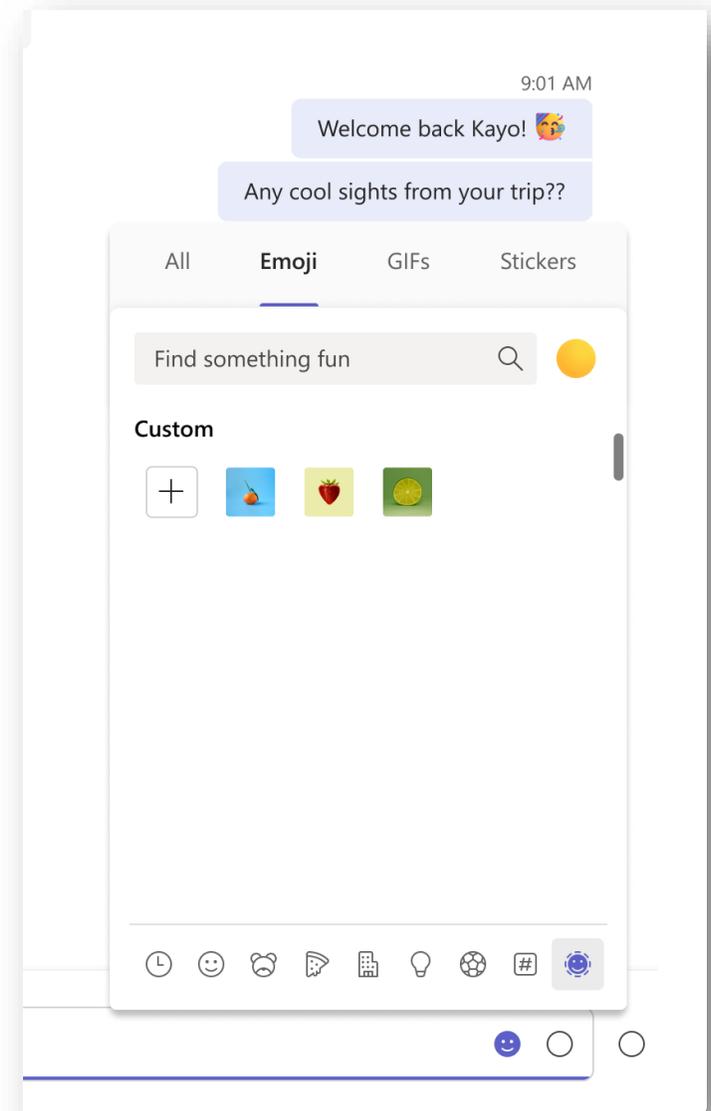
Microsoft Teams では、ユーザーが画像または GIF ファイルをアップロードすることで、カスタム絵文字とリアクションの追加が可能になります。追加されたコンテンツは、標準の Teams 絵文字やリアクションと同様にテナント内のすべてのユーザーが使用できます。

テナントごとに、最大 5,000 個のカスタム絵文字を追加できます。

この新しいカスタム絵文字とリアクション機能は、デフォルトでオンになり、テナント内のユーザーは、テナント全体に表示される絵文字をアップロードできます。絵文字の作成が可能なユーザーは、プラス (+) ボタンから新しいコンテンツの追加が可能です。

絵文字の削除が可能なユーザーは、カスタム絵文字を右クリックから削除が可能です。削除された絵文字は、他のユーザーに反映されるまでに最大 24 時間かかる場合があります。

管理者はこの機能のリリース前に、この機能のオンオフ、絵文字の作成が可能なユーザー、削除できるユーザーを Teams 管理センターにてコントロールできます。



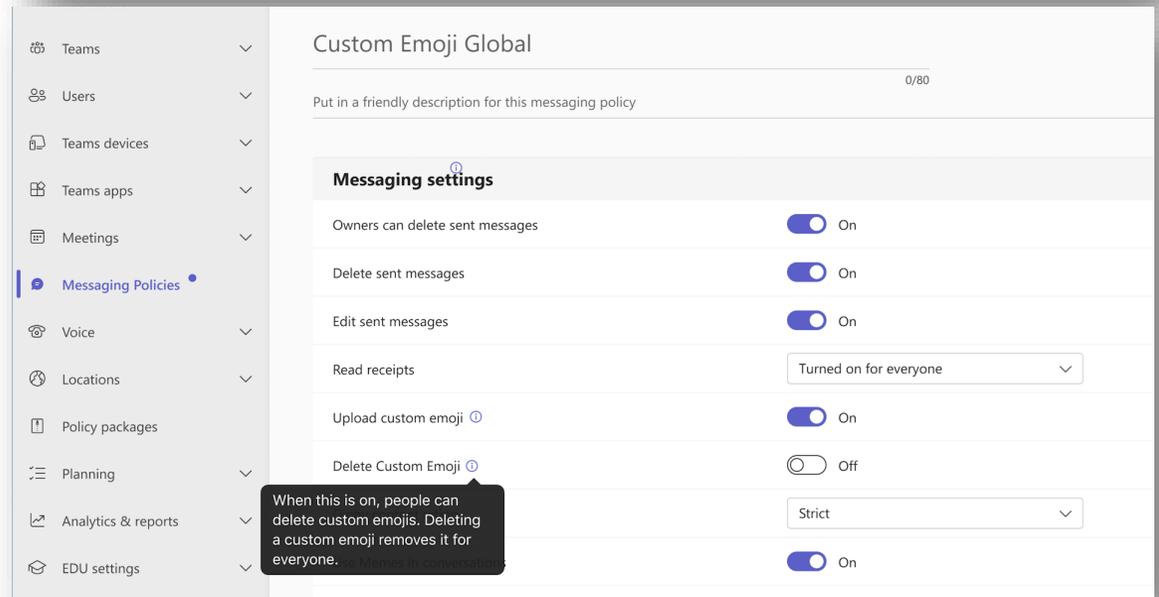
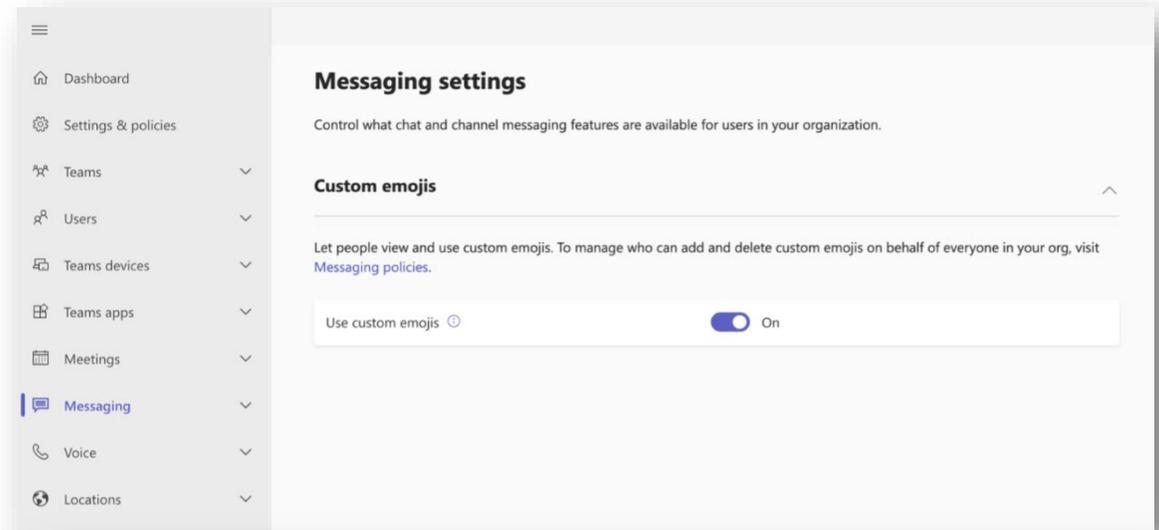
Microsoft Teams 【MC795750】

Teams 管理センターのコントロールは、6月上旬に利用可能になります。リリース前に、必要に応じて設定を調整し、機能のロールアウト時に設定が確実に行われるようにすることを推奨します。

- 「メッセージの設定」ページにて、テナント全体のカスタム絵文字機能のオン/オフの切り替えが可能です。(既定：オン)
- メッセージング ポリシーグループを使用して新しい絵文字を作成できるユーザーを設定が可能です。(既定：すべてのユーザーに対してオン)
- メッセージング ポリシーグループを使用して絵文字を削除できるユーザーを設定が可能です。(既定：管理者を除くすべてのユーザーに対してオフ)

リソース

- [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC795750](#)
- [Microsoft 365 Roadmap ID:80659](#)



Microsoft 365 Apps 【MC786325】

- ・ Microsoft Outlook と Microsoft Teams: フォローで会議に応答する

リリース時期：6月中旬～7月中旬

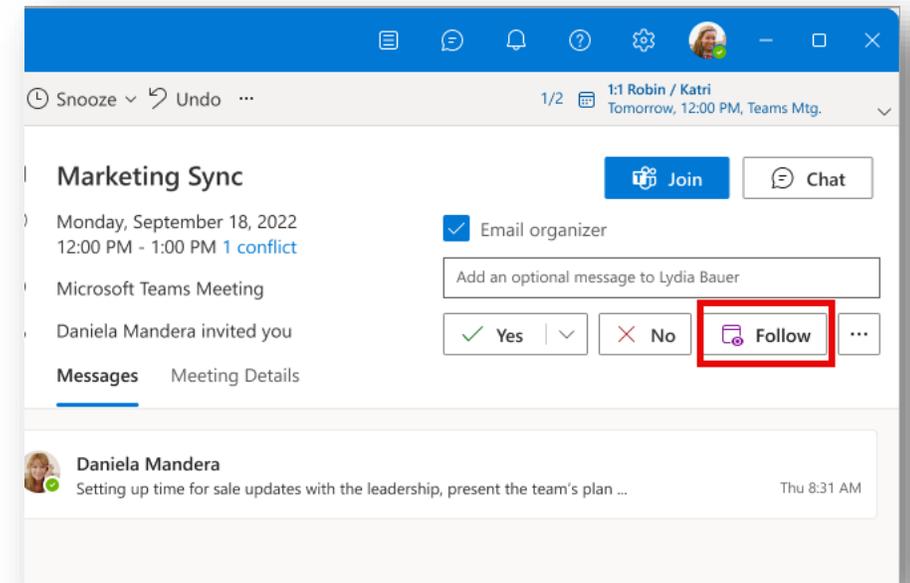
概要

Microsoft Outlook と Microsoft Teams では、新しい会議応答オプションとして「フォロー」が導入されます。

「フォロー」は、会議に出席できないが会議後の情報にアクセスしたい場合に最適な会議応答オプションです。

ロールアウト後、会議の応答オプションは [はい (承諾)]、[いいえ (辞退)]、[フォローする] に変更となり、[仮承諾] は [...] メニューから選択可能です。なお、「フォロー」は新しい Outlook for Windows と Outlook on Web でのみ使用できます。

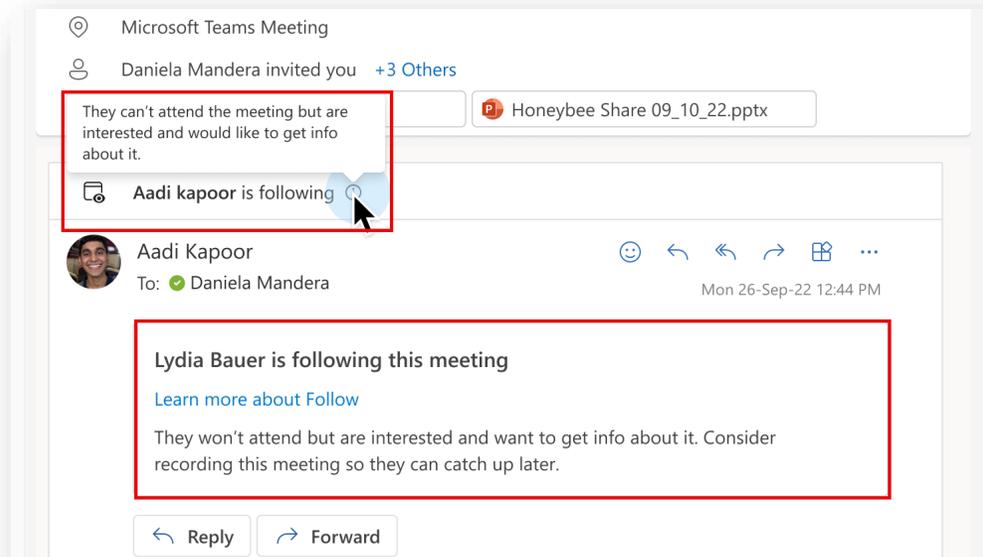
会議の開催者がクラシックの Outlook for Windows、Outlook for Mac、または Outlook Mobile を使用している場合は、参加者が会議をフォローすると、応答は [仮承諾] として表示されます。



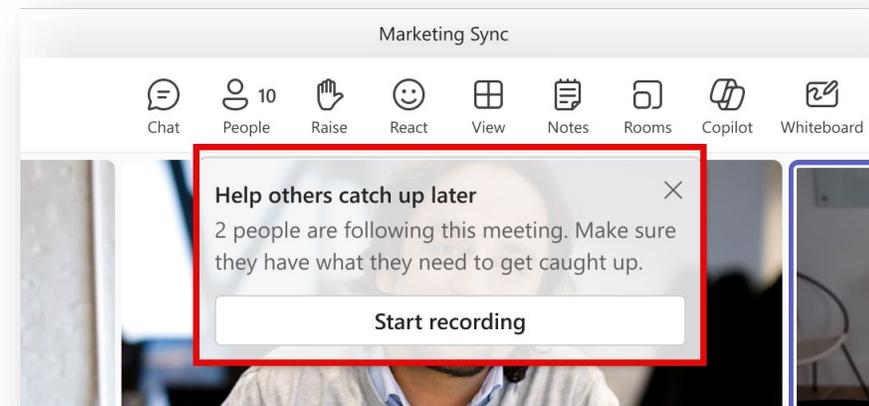
Microsoft 365 Apps 【MC786325】

「フォロー」の機能は以下の通りです。

- 開催者に通知する：フォローすると、会議の開催者に、出席はできないが参加を継続し、会議後の情報にアクセスしたい旨を知らせます。
- 時間を解放する：フォローすると、予定表の会議が空きとしてマークされるため、時間の優先順位付けがしやすくなります。会議とチャットへのアクセスは引き続き可能です。
- 最新情報を入手する：フォローすると、会議の開催者に、会議を記録するよう通知されます。会議後に要約が利用可能になった場合は通知が届きます。



フォローで応答する招待者がいる場合の開催者のビュー



会議開始時、開催者に表示されるリマインダー

リソース

- [Microsoft 365 AdminCenter ID:MC786325](#)
- [Microsoft 365 Roadmap ID:154557](#)

おわりに

私たちのサービスにご興味を持っていただけたでしょうか。

もし、「もう少し知りたい」などございましたら、ぜひサイトのお問い合わせからご連絡ください。

皆様の「困った」を、お待ちしております。

[サービスの紹介サイトはこちら](#)

サービス概要

Sonorite Xenial Support (SxS) のサービスについて
ご紹介いたします。

Sonorite Xenial Support って、何？

SharePoint、Microsoft Teams、
Power Automate、Power Apps…
管理の手、足りていますか？

何かと多忙なIT部門。
業務改善にアプリを作ろうにも手が回らない。
ユーザーからの問い合わせ、原因が何もわからない。



その業務、少し私たちに任せてみませんか？

Sonorite Xenial Support サービス概要

多忙なIT部門の皆様のために、回数や工数を気にせずに問い合わせいただける、そんなサービスが「Sonorite Xenial Support」（略して「SxS : エスバイエス」）です。

Point !

- ✓ お客様の「困った！」に寄り添います
- ✓ Microsoft のソリューションに特化した専門家が対応いたします
- ✓ お客様の状況に合わせて選べる、5つのプランをご用意しています
- ✓ 毎月定額、問い合わせ回数は無制限、メールにてお問合せを承ります
- ✓ 月一回、Microsoft 365 のアップデート情報をご紹介します



Sonorite Xenial Support

[サービスの紹介サイトはこちら](#)

こんな方にオススメです

日々の運用にお困りの方

- * SharePoint や Teams の使い方がわからない
- * Microsoft 365 の公開情報の用語や言い回しがわからない、目的の情報がなかなか見つからないため、適切に管理できているか不安がある
- * 運用作業を自動化したいが自分たちではどう作ればいいのかわからない
- * 運用に時間を取られてコア業務の時間を圧迫している
- * 困ったときに質問できる人が周りにいない、どこに問い合わせをすればよいか分からない

Microsoft 365 をもっと活用したい方

- * Power Apps や Power Automate で自分でアプリやフローを開発しているが上手くないので質問をしたい、できればサンプルが欲しい
- * 次々アップデートされる新しい機能について教えて欲しい

こんな人にオススメです



SharePoint 上のファイルが検索にヒットしない…どうしたら改善できるのかわからない！

ファイルの言語判定が他の言語になっているため、上手くインデックスのワードが生成されていません。言語判定を日本語にすることで改善するので、具体的な手順をご案内します！



Power Automate を使用して、Excel に記載されているデータをリストに転記したい！どうしたらいいのかな？

Excel のテーブルに記載されていれば、Power Automate のアクションで取得して転記することが可能です！テーブルではない場合は、Office スクリプトを作成しておき、フロー内で Office スクリプトを実行することでデータ取得が可能です。フローの作成方法をご説明します！



こんな人にオススメです



新規にリストを作成するときは CSV ファイルからデータを取り込めるけど、既存のリストでも CSV ファイルからデータを取り込みたいよ～。

PowerShell スクリプトを作成することで実現可能です。
1日開発サービスにてスクリプトを作成して提供します！



業務が忙しくて、Microsoft 365 に関するアップデート情報が拾い切れていない！
特に廃止情報はすぐにキャッチしたい！

定例会で月に一度、対象のアプリケーションについてアップデート情報をご案内します！
重要な廃止や仕様変更の情報は、メールでもアナウンスします！



プランについて

皆様のお悩みに合わせ、5つのプランをご用意しています。



Sonorite Xenial Support



Sonorite Xenial Support

Basic Communication



Sonorite Xenial Support

Cloud Flows



Sonorite Xenial Support

Low-Code Apps



Sonorite Xenial Support

Hybrid SharePoint



Sonorite Xenial Support

Advanced Engineering

プランについて

それぞれのプランでの対応範囲はこちらです。

	Basic Communication	Cloud Flows	Low-Code Apps	Hybrid SharePoint	Advanced Engineering
 SharePoint Online	○	○	○	○	○
 オンプレミス SharePoint				○	
 Microsoft Teams	○	○	○	○	○
 Power Automate		○	○		○
 Power Apps			○		○
 定例会/ オンサイト	○	○	○	○	○
 1日開発 サービス	○	○	○	○	
 PoC作成					○

※定例会/オンサイト：毎月、最大4回（合計8時間）までの範囲で打ち合わせまたは直接貴社環境の確認を行います。
 ※1日開発サービス：1日（8時間）以内でアプリやスクリプトなどのサンプルを作成します。
 ※PoC作成：ご契約工数と対象サービスの範囲で、PoCの作成を行います。

前提条件

「SxS」ご利用に関する前提条件は以下となっております。

- お支払いは毎月末請求、翌月末支払いにてお願いいたします。
- ご担当者様の業務および運用範囲を把握し、両社間での認識齟齬を避けるため、ご契約は部門単位とし、窓口人数は5名を目安とさせていただきます。
- お問い合わせ受付/回答はメール（もしくは当社テナントの Teams チームチャット）とさせていただきます。
- お問い合わせ受付は24時間対応しておりますが、メールの対応は10:00～18:00とさせていただきます。
- お問い合わせの初回受付時から3営業日以内に回答、もしくは回答目途のご連絡をいたします。
- お問い合わせの技術調査につきましては、弊社パートナーへ再委託する場合がございます。
- 緊急のお問い合わせにつきましては、優先度を上げて対応しますが、即時回答を保証するものではありません。
- お客様環境の調査作業につきましては、弊社メンバー所有の端末からとし、お客様指定の貸与端末等での実施は不可とさせていただきます。
- 弊社は基本在宅勤務となっておりますので、対応場所のご指定は受けかねます。
- 作成物は月ごとのサポート実績報告書とし、月末もしくは月初に送付させていただきます。

